

水稻育苗用資材「三井合成培土中苗用NEO」による中苗育苗

古川農業試験場

1 取り上げた理由

水稻育苗用資材「三井合成培土中苗用NEO」は、現在市販されている人工育苗培土のなかでは安価な方であり、本培土を使用して育苗した苗は、従来の普及資材と同程度の苗形質が得られ、低コスト稲作に資することから、参考資料とする。

2 参考資料

1) 培土の成分含有率は次のとおりである。

成分(%)	窒素	0.09 (速効性 0.07 緩効性 0.02)
	リン酸	0.12
	加里	0.06

※ 保証成分	T-N	T-P ₂ O ₅	T-K ₂ O	比重	pH	水分
(1kgあたりg)	0.9	1.2	0.6	0.85~0.90	4.6~5.0	21%

2) 使用方法

- a 肥料分量は1箱当たりの床土と覆土の合計なので、床土・覆土ともに本培土を使用する。
- b 原則として基肥及び追肥の必要はない。
- c 使用土量の目安は次のとおりである。 使用土量 床土 2.0kg/箱 覆土 1.0kg/箱

3) 対象地域等 県内一円

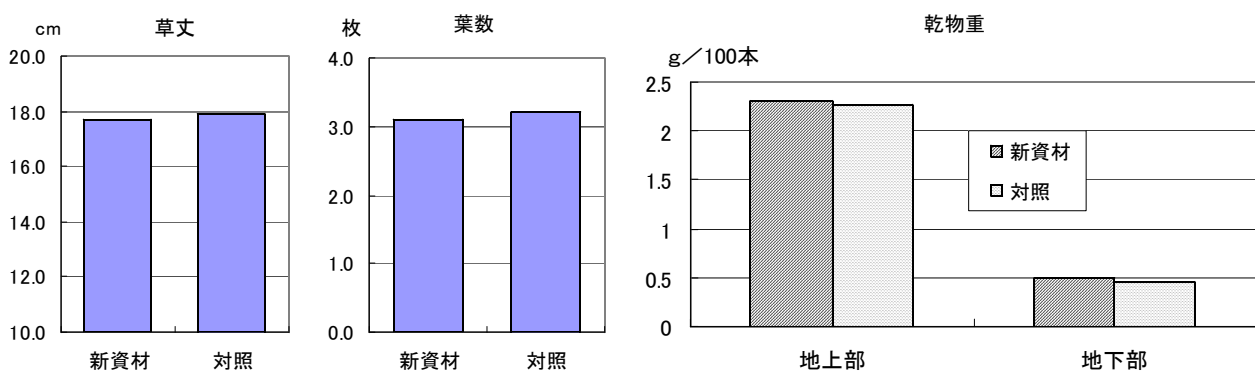


図-1 苗質の比較

3 利活用の留意点

- 1) 殺菌剤などの薬剤の使用は防除基準どおりに行う。
- 2) 本培土を使用した育苗法は、施肥以外は「稲作指導指針」に準ずる。
- 3) 本培土は当年の育苗のみに使用する。

(問い合わせ先：古川農業試験場栽培部 電話 0229-26-5106)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究機関 除草剤・生育調節剤及び新資材に関する試験(平成10年度)
古川農業試験場栽培部作物科

2) 参考データ

「三井合成培土中苗用NEO」の中苗育苗における実用性を検討するため「くみあい粒状中成苗用培土」(対照:「普及に移す技術」第52号普及技術)と比較して試験した。

苗質が徒長傾向となる育苗期間の天候の中、「三井合成培土中苗用NEO」は、出芽は良好で育苗期間中に葉の退色もみられず、第1葉鞘高や第1・2葉身長が長めとなったが、育苗終了時の充実度、マット強度、葉色とも対照程度であった。

表-1 苗 質

	草丈 (cm)	葉数 (枚)	第1葉鞘長 (cm)	葉身長(cm)				最長根長 (cm)	根数 (本)
				1葉	2葉	3葉	4葉		
新資材	17.7	3.1	4.2	2.6	8.0	10.4	1.3	8.9	11.4
対 照	17.9	3.2	3.7	2.2	7.2	10.4	1.6	7.8	12.5

注) 1) 育苗は加温ハウス育苗(畑育苗), 100g(乾物)/箱

2) 苗質は20本3反復調査

3) 対照は「くみあい粒状中成苗用培土」

4) 両区とも、床土・覆土ともに同一資材使用

	乾物重(g/100本) ¹⁾		充実度	マット強度 ²⁾ (kg/10cm)	葉 色	
	茎葉	根			2葉期(カラスケール)	移植時(GM)
新資材	2.30	0.49	1.30	3.7	4.8	28.7
対 照	2.27	0.46	1.27	3.9	4.8	28.9

注) 1) 乾物重は300本調査、2) マット強度は5回測定

3) 発表論文等 なし

【補足】

1) 中苗の移植時苗形質の目標値(「稲作指導指針」による)

苗形質	草 丈	第1葉鞘長	葉 数	茎葉乾物重	充実度
目標値	13~18cm	2~3cm	3.5~4.0葉	2.1g/100本以上	1.5~2.0

2) 参考価格 (平成11年2月現在)

資 材 名	1袋(20kg)価格	1箱当たり土量	1箱当たり価格
三井合成培土中苗用NEO	540円	3.0kg	約81円
くみあい粒状中成苗用培土	732円	3.0kg	約110円